

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
(さともん)

令和2年度(第6期)通常総会議案書

令和2年6月

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所 令和2年度通常総会

開催日時 令和2年6月30日 10時00分から 11時00分まで
場 所 兵庫県篠山市味間新 315 さともん事務所

議事次第

- 1 開会
- 2 議長選出
- 3 議案
 - (1) 第1号議案 令和元年度(第5期)事業報告
 - (2) 第2号議案 令和元年度(第5期)活動計算書報告
 - (3) 第3号議案 令和2年度(第6期)事業計画(案)
 - (4) 第4号議案 令和2年度(第6期)活動予算書(案)
 - (5) 第5号議案 第3期役員の変更(案)
 - (6) その他
- 4 閉会

【資料】

- 資料1. 令和元年度事業報告
- 資料2. 令和元年度会計報告
- 資料3. 令和2年度事業計画案
- 資料4. 令和2年度活動予算案
- 資料5. 第3期役員の変更案

令和元年度事業報告書

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 活動の成果

令和元年度は、(1)「地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業」に関する各市町村からの委託事業を受託したほか、丹波篠山市内において「第2回獣がいフォーラム」の企画・運営業務を受託し、高校生はじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会や地域を元気にする前向きな獣がい対策について理念や議論を共有する場づくりを行いました。また、(2)「獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」と(3)「地域の獣害問題及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業」について、実施内容や回数、エリアをさらに拡大し、都市部からの支援者の獲得に努めました。また、地域の前向きな獣がい対策を支援していくためのフェンドレイジングを強化するために、新しい多様な会員制度を定め、Web ページをリニューアルしました。6月には島根県美郷町と獣害対策をきっかけにした地域活性化の推進に向けて「山くじらブランド包括的連携に関する協定」を結び、またそのことがきっかけとなって、「鳥獣害対策で多様な人材を呼び込み地域を元気にする」という理念が一致する丹波篠山市と美郷町が「鳥獣害対策及び地域活性化の促進に関する連携協定」を結ぶ調整を行い、協定調印式の後には、酒井市長、嘉戸町長、さともん代表理事の鈴木氏の3名で鼎談を行い、今後の方向性について議論しました。(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育ちを支援する事業として、旧おとわ園(こども園)を活用した子育て支援拠点施設「おとわの森子育てフィールド」の運営(補助事業)により、豊かな里地里山に恵まれた篠山における子どもの健全育成ならびに多世代交流を促進するとともに、里地里山問題解決のために子育てママや女性の活躍機会の場を促進したほか、ママと子供のためのマルシェ「おとわのMoriMori マルシェ」、「フリマ」を開催しました。最後に、(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業として、兵庫県のニホンザル生息数調査(兵庫県から受託)を実施しました。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業

① サル用電気柵設置事業(岡山県高梁市・大阪府箕面市)

天然記念物「臥牛山のサル」(高梁市)、天然記念物「箕面山サル生息地」(箕面市)のニホンザルによる農作物への食害を防止するための電気柵を設置した。



② 丹波篠山市獣がいフォーラム運営（丹波篠山市）

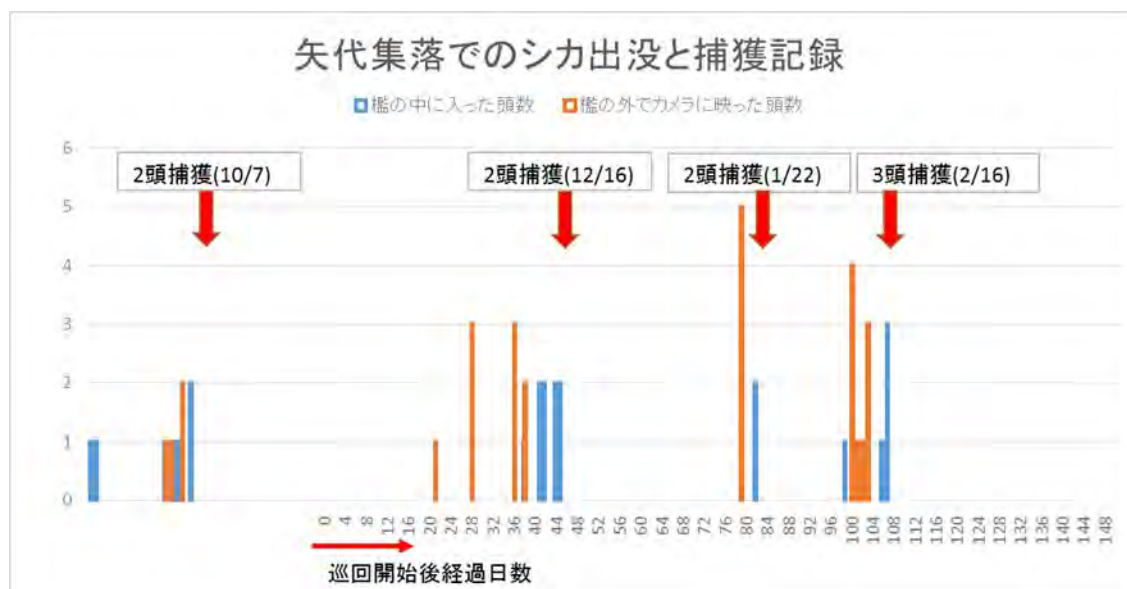
丹波篠山市内において「第 2 回獣がいフォーラム」の企画・運營業務を受託し、高校生はじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会「獣がい対策実践塾」を実施した。



③ 丹波篠山市実施隊支援・強化活動（丹波篠山市有害鳥獣対策推進協議会）

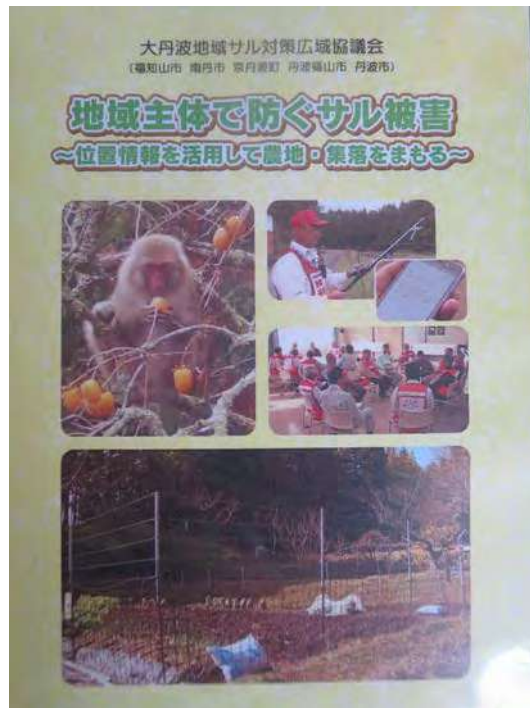
丹波篠山市の3集落において（矢代集落・藤之木集落・黒石集落）、安定かつ継続して被害対策を実施できる体制を整備するために、地域住民が主体となって対策を行うための中心的役割を果たす人材の育成や、地域の体制づくりの支援を目指した。今年度は、集落主体で被害対策に直結する加害個体を捕獲するため以下のとおり対策・捕獲指導・実績を得た。

	矢代集落	藤之木集落	黒石集落
地域との協力体制	調整済	調整済	未調整
地域担当者	小嶋國裕	笠井好彦	不明
地域担当者経験	狩猟免許・捕獲経験なし	狩猟免許取得済（捕獲経験なし）	
地域担当者の役割	現場確認・餌付け	現場確認・餌付け	
実施隊支援員	川合正幸（NPO 法人里地里山問題研究所）		
支援員の役割	指導・状況確認（センサーカメラ等）	指導・状況確認（センサーカメラ等）	餌付け・状況確認（センサーカメラ等）
支援日数	145日（10/1～）	188日（9/19～）	187日（9/20～）
捕獲実績	シカ7頭（支援期間中）	0頭	シカ1頭
止め刺し	実施隊	実施隊	実施隊
捕獲檻の種類	ホカクラウド	ホカクラウド	かぞえもん



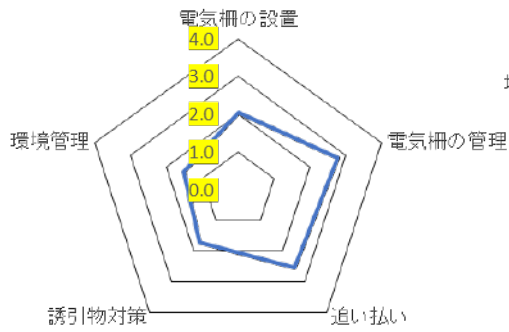
④ 大丹波地域サル対策住民指導および集落対策状況調査・普及用 DVD 作成支援業務および事務局業務（大丹波地域サル対策広域協議会）

大丹波地域管内における住民または行政向け研修会を全10回開催するほか、集落対策状況調査・普及用 DVD 作成支援業務を請け負った。また、大丹波地域サル対策広域協議会の会議運営・会計などの事務局業務を受託した。

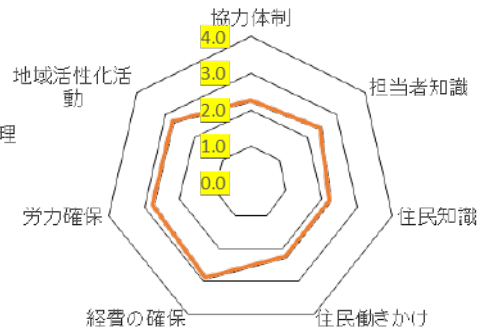


普及用 DVD

サル対策レベル評価



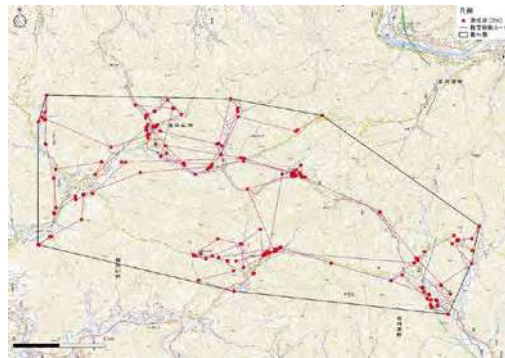
集落体制レベル評価



大丹波管内における各集落のサル対策自立度評価 (平均値)

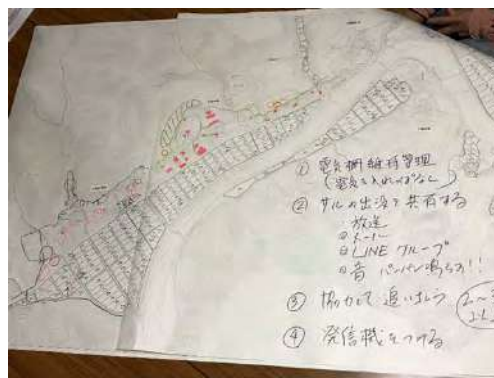
⑤ 福知山市サル対策支援 (京都府福知山市)

福知山市三和町川合地内において、ニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理と住民主導型で自主的な被害対策を推進するために、ニホンザル生息状況查のための発信機装着作業、住民の対策状況や意識に関するアンケート調査、対策の基礎となる住民への追い払い指導、捕獲指導、研修会での指導等の業務を実施した。



⑥ 綾部市サル対策支援（京都府綾部市）

綾部市内のニホンザル被害に対し、住民主導型で自主的な被害対策およびニホンザルの生息状況に応じた適切な個体数管理に取り組むべく、対策の基礎となる住民への追い払い指導、捕獲指導、研修会を実施した。



(2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業

- ① 獣害対策に先進的に取り組む地域として、他地域での講演および視察対応を行った。
- ② サポーターの確保にむけてWeb ページ、Facebook ページを運営した。
- ③ 情報会員にメルマガ（無料）を発行した。会員数 224 名（2020 年 6 月現在）
- ④ 地域の前向きな獣がい対策を支援していくためのファンドレイジングを強化するために、新しい多様な会員制度について検討し、Web ページをリニューアルした。
- ⑤ 島根県美郷町と獣害対策をきっかけにした地域活性化の推進に向けて「山くじらブランド 包括的連携に関する協定」を結び、丹波篠山市と美郷町が「鳥獣害対策及び地域活性化の促進に関する連携協定」を結ぶ調整を行った。協定調印式の後には、酒井市長、嘉戸町長、さともん代表理事の鈴木の 3 名で鼎談を行い、今後の方向性について議論した。



さとものリニューアル HP



さともと美郷町との連携協定調印と講演会の様子



丹波篠山市と美郷町との連携調印式と3者鼎談

(3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業

地域の獣害発生状況を伝え、守り継承したい里地里山の恵みを都市住民に気軽に体験してもらうために、以下のプロジェクト・イベントを実施し、2019年度は1年間で延べ444人の関係人口を創出した。|

① さともんオーナー制度

地域に存在する豊かな「里の恵み（さともん）」を獣害から守り、継承していくためのオーナー制度として、以下を実施し、FBで生育状況や野生動物出没状況を報告した。

A) 鳥害から守るブルーベリーオーナー 15オーナーが参加

場所：futaba café



B) 獣害から地域を守る丹波篠山黒豆オーナー (別紙参照)

40オーナーが参加 全4回のイベントを実施したほか、ボランティアを募集して15回の獣害対策や耕作放棄地有効活用のための活動を行った。

場所：安口・川原集落

② 川阪オープンフィールド (別紙参照)

2019年度に新規スタートした川阪オープンフィールド。約2週間に一度の頻度で計21回開催。1年間で、都市住民や市内の高校生、さともんスタッフ含めて延べ204名(大人)の地域外人材が参加し、遊休農地の有効活用に従事した。

場所：丹波篠山市川阪集落

(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業

獣害から守った農産物の販売のほか、サルに効果的な電気柵「おじろ用心棒」ほかの獣害対策資材販売を行った。

(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業

被害対策・捕獲等の現場にてセンサーカメラを用いて野生動物の行動調査を随時行った。

(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業

① おとわの森子育てママフィールド事業（市受託事業）

登録者数 622人（6/25現在）

シリーズイベント、ツキイチイベント、ツキイチ勉強会、その他イベント、施設一般利用
「すべてのママが心ゆるせる仲間と共に自分を磨き、輝くことで自分を大切にでき、子育てを楽しめる社会を目指します」（2020年1月31日作成）を理念に掲げ、①子育てで心ゆるせる仲間を作る ②自分を磨き、笑顔が輝く ③ママが「心の余裕」をもてる地域社会を作る を役割と考え、イベントの企画を行った。



2019年5月18日開催「おとわの MORI MORI マルシェ」では約350名(写真左)

2019年11月23日開催「プティプリ フリマ」では約300名(写真右)

多くの来園者の方に楽しんでいただくことが出来た。

その他、月1で行われる手形足形アートカレンダーは、子どもの成長をカタチに残すことが出来るので、多い時には30組以上の来園者が作成する人気イベントとなった。

今年度は、チャレンジオフィス(施設利用)を利用し、筆ペン講座やベビーマッサージ等、多くの女性に活躍していただいた。

(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

① 兵庫県ニホンザル研究支援業務（サルカウント調査）

篠山市においてニホンザルの生息数カウント調査を実施した。

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会 令和元年6月22日

議事内容 平成30年度(第4期)事業報告、会計報告

令和元年度(第5期)事業計画案、予算案、第3期役員案

①理事会 年4回開催

第1回理事会 令和元年6月11日 18時～20時 さともん事務所

議事内容 令和元年度体制、事業案の検討

第2回理事会 令和元年8月5日 17時～19時 さともん事務所

議事内容 令和元年度事業進捗状況、5周年企画の検討

第3回理事会 令和元年10月15日 18時～21時 さともん事務所

議事内容 5周年企画の検討

第4回理事会 令和元年12月11日 18時～21時 さともん事務所

議事内容 5周年企画の検討

②その他例会 5周年企画会議&新年会(2019年1月13日)

5周年記念集会(令和2年2月23日)

(2) 会員(令和元年度6月)

正会員 19名(鈴木克哉、清野未恵子、垣内敬造、山内一隆、中山史夫、長尾勝美、鈴木友美、川井正幸、高根沢均、西崎伸子、山端直人、室山泰之、塚本茂、京極暁、山崎義博、香川裕一、杉浦里奈、榎本拓司、楳木美幸、以上入会順)

賛助会員(団体) 3団体(株式会社末松電子製作所、株式会社ジャパンファースト、株式会社アイエスイー)

「獣害から地域を守る」 丹波篠山黒豆オーナー in 安口・川原

さともんで、農村と都市が連携して地域の獣害対策を支援しながら、耕作放棄地を活用して特産品の黒豆畑を再生するプロジェクト『獣害から地域を守る』丹波篠山黒豆オーナーを2017年から丹波篠山市安口・川原の両集落で開始しています。2019年はさまざまな地域から40名の方にオーナーになっていただき、約2週間に1回の頻度で現場活動も行いました。



■ 黒豆と地域の魅力を発信

黒豆オーナーの皆様には10月中旬、10月下旬、11月中旬、12月中旬と4回に分けて獣害から守った黒豆をお届け、または収穫していただき、季節によって変化する黒豆の魅力を味わっていただきました。そのほか、年4回のイベントを実施し、黒豆だけでなく地域の魅力を体感していただきました！

遠くの方にも年4回黒豆をお届け



10月中旬の黒枝豆



10月下旬の黒枝豆



苗植えと流しそうめん



黒枝豆の収穫



11月のピンク豆



お正月用乾燥黒豆



黒豆選別とぼたん鍋



黒豆みそづくり

年4回のイベントには延べ134人(子供含む)の方にお越しいただきました。

■ 2週間に1度のボランティア作業

約2週間に1度の頻度で現場作業(農作業、耕作放棄地の活用、地域の獣害対策支援)を行い、地域外から延べ113人(大人)の方が地域に訪問し、汗を流しながら地域の様々な資源や魅力を感じ取っていただきました。地域のファンになって毎回作業に来てくださるリピーターの方も多くできました。耕作放棄地では、今年はずぼづくりも行いました。

開催日	参加人数(大人)			計	
	一般	さともん	地域	地域外	総数
4月20日	3	2	2	5	7
5月4日	3	2	1	5	6
5月19日	2	2	1	4	5
6月2日	3	1	2	4	6
6月15日	5	2	2	7	9
7月14日	7	2	2	9	11
8月10日	9	3	1	12	13
8月24日	10	3	5	13	18
9月7日	6	4	1	10	11
9月29日	6	2		8	8
11月10日	6	5		11	11
11月24日	5	2		7	7
12月8日	5	2		7	7
1月26日	3	2		5	5
3月21日	4	2	1	6	7
延べ人数	77	35	17	113	131
平均	51	24	18	75	87





地域の獣害対策の支援活動 ～シカ・イノシシ防護柵の補修作業～

2019年8月24日に安口地区内でイノシシが柵を掘り起こして侵入を繰り返している獣害柵の補修作業をお手伝いしました。黒豆オーナーになっていただいている都市部の方や市内の高校生も参加して、イノシシによる被害の状況を目の当たりにし、地域の方に補修方法を教わりながら、ワイヤーメッシュを利用して、下部からの侵入対策を実施しました。

2019黒豆オーナーの皆さまの声（アンケートから抜粋）

- 初めての農業でいろいろと学ぶことが多く、非常に有意義なイベントでした。草刈りが思っていた以上に重労働。自ら作業したこともあり、おいしく頂けた。一番大きいのは地元の方とお話が出来てよかった。
- 予想していた以上に楽しく活動させて頂きました。素人でも農作に関われること、子連れでも気軽に参加できること、農作の消費者からは見えない大変さやとれたてだからこそその楽しみなど、毎回発見ばかりでした。黒枝豆の最初はやはり特別美味しく感じ、毎日でも食べれます。ピンクの黒豆も手軽な黒豆ご飯として感動しました。お正月の黒豆は、新年のおせちをよりおいしく思い入れができていいスタートとなりました。
- 今年度はボランティア参加をすることで、苗植えから収穫に至るその前後の工程も経験することができ、黒豆栽培の大変さも感じることができました。4回に渡る黒豆の味比べのうち、黒枝豆とはちょっと違うピンク黒豆が美味しかったです。どのイベントも楽しかったです。
- 黒豆が収穫されるまでの苦勞が良くわかり、美味しいだけではもったいないと考えています。地域応援とまではいなくても応援していければ…。黒豆もぼたん鍋の時のお野菜もおいしかったです。持てなされるまでの準備の大変さを考えるともっともっと応援したいです。4度の黒豆のうち、特にピンク色の黒豆、おいしく頂きました。収穫時の色の美しさやさやの枯れ具合のコントラストが意外な印象でした。
- 色々な経験ができて楽しかったです。黒豆ができたのを収穫でき、感動しました。実際食べてすごく美味しかったです。普通の枝豆より茹でるんだなああとビックリしました。すごく甘くて美味しかったです。ピンク黒豆は初めてみたのですが中々なキレイな色で美味しく、また来年も楽しみにになりました。
- 年に何度か草刈りやイベントに参加して獣害や篠山の勉強になりよかった。草刈りもよい運動になってよい汗がかけました。4度の豆は皆美味しくいただいて、山の芋も美味しかったです。街で買うより新鮮で立派な黒豆が食べれた。



黒豆オーナーは2020年度も継続しますが、新型コロナウイルスの感染防止対策をとり3密を避けて作業を行います。

川阪オープンフィールド



Kawasaki Open Field

2019年度活動報告

2019年度に新規スタートした川阪オープンフィールド。約2週間に一度の頻度で計21回開催。1年間で、都市住民や市内の高校生、さともんスタッフ含めて延べ204名(大人)の地域外人材が参加し、遊休農地の有効活用に従事しました。

参加人数の内訳

開催日	参加人数(大人)			計	
	一般	さともん	地域	地域外	総数
4月14日	5	3	6	8	14
4月28日	6	4	6	10	16
5月12日	5	4	4	9	13
6月8日	8	5	7	13	20
6月9日	4	4	4	8	12
6月23日	4	1	3	5	8
7月21日	4	1	6	5	11
7月21日	8	4	4	12	16
8月4日	4	3	4	7	11
8月18日	5	2	4	7	11
9月8日	18	6	4	24	28
10月6日	11	3	3	14	17
10月20日	8	2	4	10	14
11月3日	6	3	6	9	15
11月16日	5	3	4	8	12
12月2日	5	4	5	9	14
12月14日	10	2	4	12	16
1月19日	7	3	4	10	14
2月2日	3	3	5	6	11
3月21日	7	3	5	10	15
3月28日	7	1	4	8	12
延べ人数	140	64	96	204	300
平均	6.7	3.0	4.6	9.7	14.3

「美しい川阪の景観を守りたい」 「地域の魅力を発信したい」

☆1日の基本スケジュール

午前：休耕地活用作業
 昼食：みんなでお昼ごはん
 午後：今後の作業検討
 参加費 300円(昼食代)



1) 春から夏にかけては、主に2つの遊休農地を再利用して、1つはお米づくり、もう一つは野菜づくりを行いました。

2) 秋以降は参加者間で地域の実情や農業の現状等について理解を深めながら、今後の作業について検討し、

- ① 持続可能なお米づくりのための販売計画の検討(6畝で27万円の販売を目指す)
- ② 黒豆畑の冬季有効活用としてのラグラス(花)栽培
- ③ 有機・無農薬栽培を目指した堆肥づくり

の3つのテーマを掲げて作業を行いました。



■ 2019年度会計報告

A) 収入の部

科目	助成金	388,000	兵庫県丹波県民局パワーアップ事業
	販売収益	62,500	お米
収入計		450,500	

B) 支出の部

科目	需用費	22,700	野菜苗
		24,911	肥料等
		23,455	農業用資材等
		164,560	草刈り機(3台)
		6,162	印鑑、飲料費
	委託料	100,000	米づくり作業委託
		15,000	蜂の巣駆除作業委託
		50,000	企画運営、会計委託(さともん)
	使用料	40,000	公民館使用料
	通信費	2,520	郵送料
支出計		449,308	

収支	A) - B)	1,192	次年度へ繰越
----	---------	-------	--------

- 地域には多くの遊休農地があり、今後ますます増加していくことが予想されます。一方、地域外から繰り返し訪問し、地域への想いや関係性を深めて、地域課題の解消や活性化に貢献したいと考える「関係人口」が増えてくれば、これらの負の財産は資源に変わります。今後さらに川阪に関心を持ち、ファンになってもらえる人を増やして、数多くある遊休農地や自然資源を活用して、地域活性化を実現していきたいと考えています。
- 将来的には、川阪オープンフィールドをモデル化し、そこで蓄積されるノウハウを活かして同様の課題を抱える他地域に波及させていくことを目指します。
- **新型コロナウイルス感染拡大防止**のため、当面は都市部からの参加について積極的な呼びかけをせず、現場作業についても、距離をとって作業するなど、3密の1つでも作らないように配慮します。



令和元年度 特定非営利活動に係る活動計算書

自 令和元年4月1日
至 令和2年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
年会費	190,000	
会費収入計		190,000
2 事業収益		
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)		
サル用電気柵設置支援	5,613,440	
丹波篠山市獣がいフォーラム運営	1,870,000	
丹波篠山市実施隊支援	1,330,000	
大丹波地域広域協議会支援	2,486,600	
福知山市サル対策支援	1,514,700	
綾部市サル対策支援	910,116	
サルイチ保守	590,400	
その他住民対策支援	557,658	
小計	14,872,914	
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)		
外部講演	267,916	
視察対応	374,788	
その他	110,850	
小計	753,554	
(3) イベント等の交流運営事業(注3)		
黒豆/BBオーナー制度参加料収益他	1,220,743	
小計	1,220,743	
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)		
農産物・加工品等販売収益	73,612	
獣害対策商品販売等収益	462,120	
小計	535,732	
(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)	368,240	
(6) 人と野生動物共生社会の実現事業(注6)		
サルカウント調査受託収益	1,868,086	
(7) 子育て・子育て等交流運営事業		
petit prix委託収益(篠山市)	8,150,000	
施設管理収益	447,000	
イベント収益その他	109,324	
小計	8,706,324	
事業収益計		28,325,593
3 受取助成金等		
丹波篠山市市民活動助成	100,000	
ひょうごコミュニティ財団	50,000	
小計	150,000	
受取助成金等計		150,000
4 受取寄付金等		
(1) 寄付金	350,000	
(3) 受取利息	41	
(4) 雑収入	353,149	
受取寄付金等計		703,190
経常収益合計		29,368,783

II 経常費用

1 事業費

人件費

給与手当	7,978,274
法定福利費	377,388
福利厚生費	57,330

人件費 計 8,412,992

その他経費

商品仕入高	1,883,422
広告宣伝費	161,643
交際費	12,933
会議費	48,699
旅費交通費	516,336
通信運搬費	3,600
諸謝金	832,288
食材費	303,201
消耗品費	1,848,514
事務用品費	7,646
修繕費	0
水道光熱費	0
新聞図書費	0
諸会費	24,000
支払手数料	589,059
地代家賃	132,706
賃借料	12,700
リース料	0
保険料	16,200
租税公課	2,400
支払報酬料	405,280
研修費	107,910
減価償却費	0
委託費	1,705,045
支払利息	0
通信費	35,352
雑費	37,363

その他経費計 8,686,297

事業費 計

17,099,289

2 管理費

人件費

役員報酬	3,600,000
法定福利費	543,060

人件費 計 4,143,060

その他経費

広告宣伝費	43,530
交際費	6,800
会議費	40,872
旅費交通費	1,848,251
通信運搬費	400
諸謝金	35,227
食材費	62,160
消耗品費	351,842
事務用品費	786
修繕費	25,480
水道光熱費	1,600
新聞図書費	4,104
諸会費	19,000
支払手数料	2,363,865
地代家賃	159,409
賃借料	42,399
リース料	1,600
保険料	71,615
租税公課	1,245,550

支払報酬料	0		
研修費	86,200		
減価償却費	15,550		
支払利息	95,629		
通信費	262,048		
雑費	31,466		
その他経費計	6,815,383		
管理費用計		10,958,443	
経常費用計			28,057,732
経常差益			1,311,051
Ⅲ 経常外収益			
経常外収益合計		0	
Ⅳ 経常外費用			
経常外費用合計		0	
税引前当期正味財産増加額			1,311,051
法人税・住民税及び事業税			85,800
当期正味財産増加額			1,225,251
前期繰越正味財産			△ 1,185,899
次期繰越正味財産			39,352

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
- (注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
- (注3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業
- (注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業
- (注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
- (注6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業
- (注7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

財務諸表の注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成はNPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月21日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法を採用しております。
無形固定資産は定額法を採用しております。

(2)施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受入れは、活動計算書に計上します。
また計上額の算定方法は「3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」に記載することとして

(3)ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は「4.活動の減価の算定にあたって
必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記することとしております。

2.事業費の内訳

別 紙

3.施設の提供等の物的サービスの受入の内訳

当期は施設の提供等の物的サービスの受入はありませんでした。

4.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

当期は活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供はありませんでした。

5.用途が制約された寄附金等の内訳

用途が制約された寄附金等はありませんでした。

6.固定資産の増減の内訳

勘定科目名称	細目	取得価額	期首簿価	当期取得	当期減少	当期償却	期末簿価	償却累計額
什器備品	プロジェクター	159,980	31,101	0	0	15,550	15,551	144,429
合 計		159,980	31,101	0	0	15,550	15,551	144,429

(別紙)

勘定科目	<イベント等の交流運営事業>	<里山問題取り組み等の発信>	<獣害解決等の研究開発事業>	<獣害対策商品及び農産物等>	<子育て・子育て支援事業>	<子育て・子育て等交流運営>	<獣害対策及び里地里山保全>	<人と野生動物共生社会の実>	<管理費>
役員報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	3,600,000
給与手当	0	0	0	0	0	0	0	0	7,978,274
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	920,448
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	57,330
商品仕入高	0	0	0	0	0	0	1,883,422	0	0
広告宣伝費	50,814	36,434	0	0	0	29,741	44,654	0	43,530
交際費	12,933	0	0	0	0	0	0	0	6,800
会議費	3,480	23,600	7,800	0	10,419	0	3,400	0	40,872
旅費交通費	0	0	107,000	0	335,056	0	74,280	0	1,848,251
通信運搬費	0	0	0	0	3,600	0	0	0	400
諸謝金	0	0	0	0	822,288	0	10,000	0	35,227
食材費	253,745	26,440	0	0	13,131	1,899	7,986	0	62,160
消耗品費	210,742	0	0	58,114	293,741	1,152,071	133,846	0	351,842
事務用品費	2,090	0	0	0	5,556	0	0	0	786
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	25,480
水道光熱費	0	0	0	0	0	0	0	0	1,600
新聞図書費	0	0	0	0	0	0	0	0	4,104
諸会費	0	0	18,000	0	0	0	6,000	0	19,000
支払手数料	4,126	330	73,771	463,376	37,078	0	10,378	0	2,363,865
地代家賃	26,465	0	0	0	106,241	0	0	0	159,409
賃借料	0	12,700	0	0	0	0	0	0	42,399
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0	1,600
保険料	0	0	0	0	16,200	0	0	0	71,615
租税公課	0	0	2,400	0	0	0	0	0	1,245,550
支払報酬料	0	0	405,280	0	0	0	0	0	0
研修費	50,000	20,000	7,910	0	20,000	0	10,000	0	86,200
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	15,550
委託費	153,500	0	0	330,000	177,420	0	1,044,125	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	95,629
通信費	16,086	0	250	11,996	7,020	0	0	0	262,048
雑費	26,300	0	923	0	8,800	0	1,340	0	31,466
計	810,281	119,504	623,334	863,486	1,856,550	1,183,711	3,229,431	0	19,371,435

(法第28条第1項関係様式例、報告式)

平成31年度特定非営利活動事業に係る会計貸借対照表
令和2年3月31日現在

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
現 金	76,726	
普通預金	6,313,254	
現金・預金 計		6,389,980
(その他流動資産)		
未収入金	5,638,666	
その他流動資産 計		5,638,666
流動資産合計		12,028,646
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品	15,551	
有形固定資産 計		15,551
(無形固定資産)		
無形固定資産 計		0
(投資その他の資産)		
差入保証金	60,000	
投資その他の資産 計		60,000
固定資産合計		75,551
3 繰延資産		
繰延資産 計		0
資産の部合計		12,104,197
II 負債の部		
1 流動負債		
未 払 金	3,914,269	
未払法人税等	85,800	
未払消費税等	838,300	
預 り 金	116,476	
流動負債 計		4,954,845
2 固定負債		
長期借入金	7,110,000	
固定負債 計		7,110,000
負債の部合計		12,064,845
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		△ 1,185,899
当期正味財産増加額		1,225,251
正味財産の部合計		39,352
負債及び正味財産合計		12,104,197

《 科 目 内 訳 書 》

現金		76,726	
普通預金	三井住友銀行	5,709,951	
	ゆうちょ銀行	603,303	
	計	6,313,254	
未収入金	獣害対策及び里地里山保全活動支援事業	5,377,816	
	里山問題取り組み等の発信	110,850	
	助成金	150,000	
	計	#####	
未払法人税等	消費税等	838,300	
	法人税	13,300	
	地方法人税	500	
	法人県民税	22,000	
	法人市民税	50,000	
	計	924,100	
未払金	未払諸経費	2,740,301	
	給与手当	3月分	1,173,968
	計	3,914,269	
預り金	源泉所得税	96,776	
	住民税	19,700	
	計	116,476	
長期借入金	鈴木克哉	役員借入	2,100,000
	日本政策金融公庫	当初借入額:850万円	4,290,000
	日本政策金融公庫	当初借入額:150万円	720,000
	計	7,110,000	
会費収入	正会員・賛助会員	190,000	
	計	190,000	

財 産 目 録

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

令和 2年 3月31日 現在

科 目	金 額	(単位：円)
I 資産の部		
1 流動資産		
(現金・預金)		
手許現金	76,726	
普通預金		
三井住友銀行	5,709,951	
ゆうちょ銀行	603,303	
普通預金計	6,313,254	
現金・預金計	6,389,980	
(その他流動資産)		
未収入金	5,638,666	
その他流動資産計	5,638,666	
流動資産合計		12,028,646
2 固定資産		
(有形固定資産)		
什器備品		
什器備品計	15,551	
有形固定資産計	15,551	
(無形固定資産)		
無形固定資産計	0	
(投資その他の資産)		
差入保証金	60,000	
投資その他の資産計	60,000	
固定資産合計		75,551
3 繰延資産		
繰延資産計	0	
繰延資産合計		0
資産の部合計		12,104,197
II 負債の部		
【流動負債】		
未払法人税等		
消費税等	838,300	
法人税	13,300	
地方法人税	500	
法人県民税	22,000	
法人市民税	50,000	
未払金計	924,100	
未払金		
諸経費未払金	2,740,301	
未払3月分給与	1,173,968	
未払金計	3,914,269	
預り金		
源泉所得税	96,776	
住民税	19,700	
預り金計	116,476	
流動負債合計		4,954,845
【固定負債】		
長期借入金		
役員借入金	2,100,000	
日本金融政策公庫	4,290,000	
日本金融政策公庫	720,000	
長期借入金計	7,110,000	
固定負債合計		7,110,000
負債の部合計		12,064,845
III 正味財産の部		
【正味財産】		
前期繰越正味財産		△ 1,185,899
当期正味財産増加額		1,225,251
正味財産の部合計		39,352

これは当法人の財産目録である。
令和 2年 5月 31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

理 事 鈴 木 克 哉



監査報告書

令和2年6月24日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所
代表理事 鈴木 克哉 殿

監事 辻 直美



私は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、特定非営利活動法人 里地里山問題研究所の令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日）の業務監査および会計監査を行った。

業務監査（理事の業務執行の状況に関する監査）に当たっては、理事会他の会議に出席または資料確認をし、必要と認められる場合には質問を行い、意見を表明した。

会計監査（財産の状況に関する監査）に当たっては、財産の実在性を中心に、帳簿、証拠書類等の閲覧、照合、質問等を行った。

これらの監査の結果、当法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理はNPO会計基準及び一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記期間にかかる事業報告書が、同法人の業務執行の状況を示し、計算書類が令和2年3月31日における財産の状況を適正に示しているものと認める。

以上

令和2年度事業計画書

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

1. 基本方針

令和2年度は、(1) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」に関する各市町村からの委託事業を予定するほか、丹波篠山市内で4つ程度の地域で、獣害対策をきっかけにした地域活性化およびそれを支える関係人口拡大にむけた事業を行います。また、(2) 「獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業」と(3) 「地域の獣害問題及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業」について、実施内容や回数、エリアをさらに拡大し、都市部からの支援者の獲得に努めます。また、昨年度に引き続き、丹波篠山市内で「第3回獣がいフォーラム」の企画・運営をし、高校生はじめ獣がい対策の新たな担い手育成のための研修会や地域を元気にする前向きな獣がい対策について理念や議論を共有する場づくりを行うほか、視察やインターンの受け入れも行う予定です。(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業については、サル位置情報配信システム「サルイチ」の特徴や効果的な活用方法をWeb上で案内し、サルイチを導入して対策を効果的に進めるため市町村の拡大を目指します。(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業として、ICT等を活用して地域の獣害対策を効果的に進める行政支援ツールの開発や、ネガティブな獣害を逆手にとった地域活性化手法について検討します。(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業として、旧おとわ園(こども園)を活用した子育て支援拠点施設「おとわの森子育てフィールド」の運営(補助事業)により、豊かな里地里山に恵まれた篠山における子どもの健全育成ならびに多世代交流を促進するとともに、里地里山問題解決のために子育てママや女性の活躍機会の場を促進します。最後に、(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業として、生態学および社会的な基礎調査にも取り組んでいきます。

2. 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	プロジェクト内容	実施月 実施回数	実施場所	対象者
(1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業	安価な防護柵設置支援	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民
	丹波篠山市実施隊支援	随時	丹波篠山市内	—
	大丹波地域サル対策広域協議会事業(出前講座・実施隊向け研修会・事務局業務)	18回	丹波篠山・丹波・福知山・京丹波・南丹	—
	高梁市食害防止電気柵設置事業	11月	高梁市内	—
	箕面市食害防止電気柵設置事業	11月	箕面市内	—

	綾部市サル対策支援業務	随時	綾部市内	—
	福知山市サル対策支援業務	随時	福知山市内	
	京丹波町サル対策支援業務	随時	京丹波町内	
(2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業	獣がいフォーラム 第3回	年1回	丹波篠山市内	60名/回
	獣がい対策実践塾	年5回	丹波篠山市内	丹波篠山市民・高校生・一般市民 20人/回
	視察受入・外部講演	年10回	丹波篠山市内・市外	—
	情報発信事業 (FB, メルマガ運営, Web サイト)	随時	法人事務所	—
	パンフレット更新	随時	法人事務局	—
(3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業	川阪オープンフィールド	隔週	丹波篠山市内 (川阪)	都市住民 7-10名/回
	ブルーベリーオーナー (4期)	随時	丹波篠山市内 (futaba cafe)	都市住民 20名
	黒豆オーナー (4期)	年4回	丹波篠山市 (安口・川原)	都市住民 60名
(4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業	獣害対策商品の販売	随時	法人事務所	一般市民
	獣害から守った農産物販売	随時	Web サイト	一般市民
	獣害から守った農産物を用いたレシピ紹介	随時	Web サイト	一般市民
(5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業	<ul style="list-style-type: none"> 行政支援ツールの開発・獣害を逆手にとった地域活性化手法 柿等の放任果樹有効活用 身近・手近な素材で行う獣害対策 	随時	法人事務所	—
(6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを	おとわの森子育てフィールド運営事業 (補助事業) ママのための癒しの場	週5日開園	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市内外)

題材とした子育て・子育てを支援する事業	子育てママのキャリアデザイン支援 (petit prix 施設利用)	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市内外)
	豊かな環境を活かした子育て・子育て支援 (おとわの森整備検討)	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市内外)
	あおぞらこども食堂の検討	随時	丹波篠山市内 (旧おとわ園)	子育て世代 (丹波篠山市内外)
(7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業	サル個体数カウント調査	随時	丹波篠山市内 ほか	—
	獣害から守りたい地域の「想い」を綴る聞き書き調査冊子かの検討	随時	丹波篠山市内	丹波篠山市民 10 数名
	ネットワーク化に向けた他地域の取り組み状況の把握・文献調査	随時	法人事務所	不特定多数
(8) 農山漁村の振興に貢献する事業				

3. 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①通常総会 2020年6月30日

②理事会 年4回(予定)

令和2年度 特定非営利活動に係る活動予算書

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員	57,000	
賛助会員	150,000	
会費収入計		207,000
2 事業収益		
(1) 獣害対策及び里地里山保全活動支援事業(注1)		
高梁市食害防止電気柵設置等	4,300,000	
箕面市箕面山サル保護管理電気柵設置事業	900,000	
大丹波サル広域協議会事業	1,800,000	
獣がい対策モデル集落育成事業	1,300,000	
実施隊確保・育成支援事業	1,000,000	
綾部市サル対策支援事業	1,500,000	
福知山市サル対策住民支援業務	1,000,000	
京丹波町サル対策住民支援業務	2,000,000	
小計	13,800,000	
(2) 里山問題取り組み等の発信事業(注2)		
獣害対策セミナー	600,000	
視察受入料収益	500,000	
小計	1,100,000	
(3) イベント等の交流運営事業(注3)		
さともんオーナー制度参加料収益	1,200,000	
イベント参加収益	150,000	
小計	1,350,000	
(4) 獣害対策商品及び農産物等の販売事業(注4)		
農産物・加工品等販売収益	432,000	
獣害対策商品販売等収益	500,000	
小計	932,000	
(5) 獣害解決等の研究開発事業(注5)		0
(6) 人と野生動物共生社会の実現事業(注6)		
サルカウント調査受託収益	1,500,000	
(7) 子育て・子育て等交流運営事業		
おとわの森子育てママフィールド運営事業	8,150,000	
事業収益計		26,832,000
3 受取助成金等		
助成金	600,000	
受取助成金等計		600,000
4 受取寄付金等		
(1) 寄付金	500,000	
(2) 定例会収益	0	
(3) 受取利息	100	
(4) 雑収入	0	
受取寄付金等計		500,100
経常収益合計		28,139,100
II 経常費用		
1 事業費		
人件費		
給与手当	9,200,000	
雑給	500,000	
法定福利費	500,000	
人件費計	10,200,000	
その他経費		
商品仕入高	2,200,000	
外注費	300,000	
広告宣伝費	400,000	

	交際費	75,000		
	会議費	40,000		
	旅費交通費	600,000		
	通信運搬費	50,000		
	諸謝金	800,000		
	食材費	200,000		
	消耗品費	1,800,000		
	新聞図書費	0		
	支払手数料	1,000,000		
	賃借料	20,000		
	保険料	30,000		
	通信費	50,000		
	雑費	30,000		
	その他経費計	7,595,000		
	事業費計		17,795,000	
2 管理費	人件費			
	役員報酬	3,600,000		
	給与手当	800,000		
	法定福利費	600,000		
	福利厚生費	10,000		
	人件費計	5,010,000		
	その他経費			
	交際費	15,000		
	会議費	50,000		
	旅費交通費	700,000		
	消耗品費	500,000		
	新聞図書費	30,000		
	諸会費	50,000		
	支払手数料	1,500,000		
	地代家賃	300,000		
	賃借料	40,000		
	保険料	20,000		
	租税公課	1,200,000		
	支払報酬料	350,000		
	研修費	50,000		
	減価償却費	15,000		
	支払利息	100,000		
	通信費	250,000		
	雑費	50,000		
	その他経費計	5,220,000		
	管理費用計		10,230,000	
	経常費用計			28,025,000
	経常差益			114,100
Ⅲ 経常外収益	経常外収益合計		0	
Ⅳ 経常外費用	経常外費用合計		0	
	税引前当期正味財産増加額			114,100
	法人税・住民税及び事業税			85,800
	当期正味財産増加額			28,300
	前期繰越正味財産			39,352
	次期繰越正味財産			67,652

※注

- (注1) 地域が取り組む獣害対策や里地里山保全活動の支援にかかわる事業
- (注2) 獣害をはじめとする里地里山問題の解決に向けた地域の取り組みや成果の発信に関する事業
- (注3) 地域の獣害及び里地里山の恵みをわかちあい交流を深めるためのイベント・ツアー・交流施設等の運営に関する事業
- (注4) 獣害対策関連商品及び里地里山の農林産物の販売に関する事業
- (注5) 獣害問題の解決や持続可能な里地里山づくりに関する研究開発事業
- (注6) 里地里山の豊かな自然や伝統的な文化・人の営みを題材とした子育て・子育てを支援する事業
- (注7) 人と野生動物が共生する社会の実現に貢献する事業

第3期（R1～2年度）役員変更案

特定非営利活動法人 里地里山問題研究所

第3期の役員（R2年度）を以下の通り6名に変更とする

役名	ふりがな 氏名	住所又は居所	報酬の有無
代表理事	すずき かつや	兵庫県丹波篠山市大沢新144番地2	有
	鈴木 克哉		
理事 (副代表理事)	きよの みえこ	兵庫県神戸市中央区生田町3-3-1-907	無
	清野 未恵子		
理事	かきうち けいぞう	兵庫県丹波篠山市小立182番地1	無
	垣内 敬造		
理事	たかねざわ ひとし	兵庫県西宮市上甲子園1-2-23ルモン上甲子園 301号室	無
	高根沢 均		
理事	かわい まさゆき	兵庫県丹波篠山市西新町305番	無
	川井 正幸		
監事	つじ なおみ	兵庫県宝塚市栄町2丁目1番1-E-603号	無
	辻 直美		

(変更理由)

長尾勝美理事、山内一隆理事の2名から一身上の都合により、退任の申し入れがあったため。